

凛とした佇まいでニュースを伝える、ふんわり優しい笑顔でトークに華を据える…。一つ一つを真面目に、丁寧に、常に真摯な姿勢で取り組む渡辺真理さん。そんな真理さんの意外な素顔、覗かせていただきました。

＊野生児、お嬢さま学校へ

生まれも育ちも本牧で、今も祖父が建てた家に暮らしています。おじいちゃんだったので、三溪園に連れて行ってもらったり、草木の名前を覚えてもらったり。本当によく遊んでもらいました。本牧は自然に溢れた地域。夏には毎日市民プールで泳いで、蝉取りして、真っ黒に日焼けして。その頃の写真をみると子ザルみたいです。お隣の家の、二つ年上の純子ちゃんが横浜雙葉小学校に通っていて「とてもいい学校ですよ」と、回覧板を持っていらしたお母さまが勧めてくださったとか。私の母は、のほほんとしているので「小中高一貫教育なら受験もないし、親も楽だわ」と思ったらしく(笑)。しかも家からバスで15分くらいだし、とお嬢さま学校と言われる分、校則などは厳しいのですが、私にとっては単調だけれど穏やかで楽しい毎日でした。

＊緑豊かな、小ぢんまりした大学で

高校2、3年生の担任だった英語の安部先生は、答えられないとバシッと頬を叩くほど厳しい先生でしたが、ご自分の人生を賭けたように生徒思いで情熱的。三者面談の時に「真理にはICU(国際基督教大学)がすごく合うと思う」と勧めてくださったんです。見学に行くと広くて緑が豊か、直感で「ここに通いたい!」と思いました。ただ、うちは祖父の代から商人の家庭だったので、父は一人娘の私にも経済や経営を勉強してほしい。幸いICUには教養学部という一つの学部しかなく、文学の講義を取ろうが経営の講義を取ろうが単位が取得できたので、父と何とか折り合って入学しました。

スキー好きの両親に鍛えられたため、大学ではスキー部に入学するつもりでしたら(その頃)スキー部は無く、ならば父親に

みっちり仕込まれた水泳を、と訪ねたら、ほぼ活動してない(笑)。結局、同級生に誘われて人手不足だったアメリカンフットボール部のマネージャーになったのですが、普通だと選手の他にトレーナーやマネージャーがいるわけですよね。でも、人数が足りなくてオフェンスの選手がディフェンスも兼ねるほど。今はもっと強くなったと聞きますが、ちょっと映画「がんばれベアーズ」みたいな感じでした(笑)。ボールを拭いたりスコアをつける傍ら、とにかく強そうに見える外国人留学生などをみんなで親切にキャンパスを案内し、勧誘していました。

＊興味の赴くままに

留学生を案内中、就職課の掲示板に「NHKキャスター募集」の張り紙があったんです。20歳になったばかりの私に応募資格はなかったのですが、通学で通り過ぎるだけの渋谷に行ってみたくて先輩についていきました。面接官に「20歳ですよね、何で来たんですか?」と聞かれ、「NHKの展示コース以外を見ることは、もう無いだろうと思ったので」と、かろうじて答えたのを覚えています。カメラテストの結果、「あなたは即戦力としては難しいけれど、よかったですら通って取材について行ったりしませんか」と連絡をいただいて、2年生から4年生まで週3日ほど通いました。

プロデューサーやディレクター、記者やアナウンサーという仕事内容を間近で学ぶことができ、何より本当に良くしていただきました。BSの電波が立ち上がった時には試運転としてのトロントサミットに「真理ちゃん出てみれば」と。初めて画面で仕事をさせていただいたのはNHKでした。

＊「伝える」ことの難しさ

テレビやラジオを通して「情報」というパッケージを預かり、見てくださっている方に届けるという仕事の難しさは常に感じます。伝



アナウンサー
渡辺 真理さん

Mari Watanabe

1967年横浜市中区生まれ。横浜雙葉小中高を経て、国際基督教大学卒業後、1990年TBSに入社。アナウンサーとして様々な番組を担当し、1998年フリーに。「ニュースステーション」終了まで担当し、現在はバラエティ番組やコラム掲載など、幅広く活躍中。写真家山下寅彦さんのネコ写真に渡辺さんが詩文を添えたポストカードカレンダー「低血圧なネコ」を毎年発売、好評を博している。



(取材協力・横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ)

わったという確証はなく、どう伝わっているのかの保証もないので、自分に満足できたことは正直、ありません。振り返ると27年、仕事を続けることが出来ている現状に、こんなに幸せなことはないなあ、と実感します。明日、声をかけていただく仕事はまた違う仕事。そういうご縁を楽しみながら、大切にしていきたい。「一緒にこの仕事をしてみませんか?」って、すごいことですよね。そんな方々に、どうしたら喜んでいただける品を納入できるかが、大袈裟に言えば苦行でもあり、愉しみでもあって。アナウンサーとしてまだまだ道半ば、少しでももっと伝えられるアナウンサーになれば…と願っています。

＊「横浜時間」でホッとする

基本的にはいつも横浜にいます。根を張ったように今後もずっと居続けます(笑)。私に

としては生まれ育った横浜はほぼ50年からの生活圈、テレビに出る職業にたまたま就けたのは30年くらい前、だから就職のずっと前から近所だった方々は何も変わらずにいてくださるし、私の意識としても何も変わらないんです。20代の頃、元町のパン屋さんで「真理ちゃん、大変なことがあったらいつでも横浜に帰ってきなさいね」って慰められて、「はい、でも毎日帰って来ています」って(笑)。本当にありがたいなあ、と思っています。「そろそろ真理ちゃんも50歳かあ」なんて言われながら(笑)、これからもずっと、ご近所としてよろしく願います。

低血圧なネコ カレンダー2017

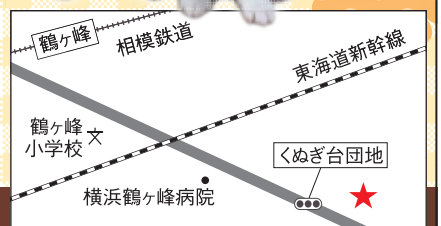
写真・山下寅彦 × 文・渡辺真理
※好評発売中



豆豆サイズの小型犬専門&ブリーダー直販

豆スケ豆プー

豆スケ☆豆プーは、マイクロサイズやティーカップサイズのトイプードル、豆柴など小さくて可愛い子犬を専門に扱うブリーダー直販店のペットショップ。初めてワンちゃんを飼う方にも親切・丁寧にアドバイスいたします。ぜひホームページをご覧ください。



豆スケ☆豆プー

動物取扱責任者 遠藤登希(販売)登録番号51-0138 H26.11.4~H31.11.3
横浜市旭区西川島町142-2
HP: http://mamesukemamepu.com/

☎045-459-6202

10時~19時
木曜定休

Email: mail@mamesukemamepu.com

鶴ヶ峰駅南口からバスで「くぬぎ台団地」下車
※事前にご予約をいただけましたら、駅までお迎えにまいります。